

○「かわまちづくり」計画の変更箇所一覧（計3箇所）

都道府県名	市町村名	水系名	河川名	箇所名	計画の概要
にいがたけん 新潟県	さんじょうし 三条市	しなのがわ 信濃川	しなのがわ 信濃川 いからし がわ 五十嵐川	かみすごろ ちく 上須頃地区かわまちづくり	<p>三条市の歴史の中で信濃川は、三条の土壌や人文化、技術や産業を運んできた、交流のシンボルといえる川であったが、現在は、市民が身近に接することのできる施設に限られているなど、川と生活とのかかわりが希薄になりつつある。</p> <p>一方、平成16年7月新潟・福島豪雨水害では、五十嵐川が破堤するなどの甚大な被害が発生し、市民の心と生活に大きなダメージを与えた。その後、水害を教訓とした堤防整備や自治体による減災のためのソフト対策が進められたことで、平成23年7月に発生した豪雨では市街地周辺で大きな被害が発生しなかったものの、上流部や周辺地域で破堤・浸水被害等が発生し、さらなる治水・防災機能の向上が求められている。</p> <p>そこで、信濃川と五十嵐川の合流点に位置する上須頃地区において、人々の交流拠点や施設整備及び防災拠点の整備、ソフト発信と一体となった水辺の整備を行うことで、川がまちの賑わいや中心市街地の活性化につながる魅力ある水辺を創造する。</p>
しがけん 滋賀県	おおつし 大津市	よどがわ 淀川	せたがわ 瀬田川	せたがわ 瀬田川かわまちづくり	<p>大津市の南部を流れる瀬田川では、大津市の都市計画マスタープランに基づき、これまで瀬田川に沿った豊かな自然や石山寺、瀬田の唐橋、南郷温泉といった観光資源及び広域的なアクセスを積極的に活用したレクリエーションゾーンとして河川公園や案内サインなどの整備が行われ、定期的な清掃活動や地元団体によるボランティア活動等により良好な環境を保ち、親しまれてきた。</p> <p>そこで、瀬田川沿いに管理用通路を整備し、これらの観光資源をつなぐことにより、瀬田川に沿って展開する大津市南部地域の観光軸の強化を図るとともに、瀬田川に沿ったの周遊空間の整備を行う。また管理用通路整備に伴い環境護岸を整備し瀬田川の水辺環境の向上も図る。</p>
くまもとけん 熊本県	やまがし 山鹿市	きくち がわ 菊池川	きくち がわ 菊池川	やまが 山鹿地区かわまちづくり	<p>菊池川中流部に位置する山鹿市は、国指定重要文化財の芝居小屋「八千代座」を中心に良質な温泉と歴史的町並みが残る「豊前街道」を軸として、地域住民と歴史・文化を活かしたまちづくりを進めている。一方、山鹿市の中心を流れる菊池川は、かつて県北の水運を支える物流軸として利用され、現在では花火大会やEポート大会など様々なイベント会場として利用されている。しかしながら、まちづくりを実施しているエリアが菊池川から堤防によって遮られており、菊池川という魅力ある河川空間をまちづくりに活かしてきていないという課題があった。</p> <p>そこで、平成18年に地域住民・まちづくりの専門家で構成する「山鹿・川とまちづくり推進協議会」を発足し、この協議会・作業部会の検討を基に地域住民と連携し、川とまちづくりが一体となった河川整備を実施する。</p>